

着物ファッションショー 「いろいろ一色に酔う。彩りが宵を包むから。」

活動場所：左京区

活動時期：平成 25 年 4 月～

発表団体

京都着物企画



連携メンバー

岡崎魅力作り推進協議会
京都市立芸術大学環境デザイン専攻
京都・滋賀の着物店
京大・岡崎周辺の飲食店等

Model&Beauty School sen-se
平安神宮
着付けクラブ 衣の会
イオンモール京都五条
ECC 美容専門学校

活動内容

今日、京都の観光エリアでは着物レンタルがとても盛んであるが、私たちは、着物文化が若者にとって一種の“レジャー”としてではなく、より身近に魅力を感じられるようにしたいと考えた。また、従来型の魅力発信の手法ではなく、“若者から若者へ”伝えることに、私たち京都着物企画が取り組む意義があると考え、「若者向け」を前面に押し出した、華やかな着物ファッションショーを企画した。本企画は、文化発信の観点と、一般参加者の入りやすさを考慮し、平安神宮という開かれた場所で、「京都岡崎ハレ舞台」を企画・運営する「岡崎ときあかり」との共催で、両企画を同時開催するようにしている（本年度は台風の影響により単独開催）。

ショーのテーマは「色見本」とし、現代的な色の組み合わせ（「きゃりーぱみゅぱみゅ」「アメリカ国旗」など）から古典的な色の組み合わせ（「裏の色目」など）まで、さまざまな色見本を着物のコーディネートで表現した。本年度は 9 月 30 日に開催した。

取組の成果・活動で工夫した点

「若者を呼ぶこと」を一番の軸とし、今年度の新たな取り組みとして、高校生モデルの起用や、大学生が集まる地域に絞ったカラオケや飲食店へのポスター掲示、ティッシュとうちわの街頭配布、参加型イベントの開催、客席全体の演出、若者向けのテーマ設定などを行った。成果としては、特に「色見本」というテーマ内の 1 セクション「Tokyo Collection」ではきゃりーぱみゅぱみゅや Monster Energy を着物で表現するなど、来場者が印象に残るショーになったといえる。本年度は単独開催となつたため、来場者は全体で 307 人と少なかったものの、そのうち大学生以下の割合が約 4 割を占めており、過去最高であった。

連携メンバー・役割

岡崎魅力作り推進協議会	共催（平安神宮の仲介、ときあかり café の主催、PR 活動等）
京都市立芸術大学環境デザイン専攻	ショー当日の空間演出の考案、製作
京都・滋賀の着物店	衣装協力
京大・岡崎周辺の飲食店	資金協力
平安神宮	ハード提供
Model&Beauty School	リハーサルでのモデル指導
着付けクラブ 衣の会	当日の着付け
イオンモール京都五条	プレイベントのハード提供
ECC 美容専門学校	ヘアメイク協力

今後の課題・目標

◆今後の課題

“若者目線”で演出や内容を詰めていたにも関わらず、それを事前に効果的な方法で広報できなかつた。文字でのプレスリリースは行っていたものの、目に留まりやすいビジュアルイメージを用意できていなかつたために広報力に欠けたと考えられる。現状は殆どが京都市内の大学生へのアクションなので、市外の大学生や中高生も含めた、全く着物に興味が無い若年層に対する広報・企画戦略が必要不可欠だといえる。

加えて、「地域との連携」という点でも課題がある。地域の方々に、単なる“お客さま”として参加いただけでなく、京都着物企画を通じて、目的・目標を共有し、協働して企画・運営に関わってもらえる体制をどう構築するか。そのためのきっかけや巻き込み方を学んでいきたい。

◆目標

高校生や中学生に対して何らかのアクションを起こし、若者にむけたファッションショー、着物着付け塾などの京都着物企画のイベントに参加してもらいたい。そのために、中高生や京都の大学（京都大学周辺以外）への効果的なコネクションをつくる。また、着物以外の要素、または着物の新しい形で若者を惹きつけることをしていきたい。



関連 WEB サイト :<http://kyotokimonokikaku.wixsite.com/kimokika>